

慶應義塾大学 法学部 英語 試験対策

■ 語義定義問題 10 問程度

…英語が難しい本大学の問題の中でも比較的満点を取りやすい問題です。文章を最初から読んでいくのは時間の無駄なのでなるべくやめましょう。

★解法

◆2014 慶應義塾大学 法学部 英語 大問Ⅳ

【問題は著作権の問題より省略】

まず、(37)～(46)を品詞分けする。すると前後の文脈から、

(37) tumult 名詞

(38) capricious 形容詞(接尾辞-ous)

(39) inexorably 副詞

(40) ensuing 動詞の-ing 形

(41) portent 名詞

(42) ominously 副詞

(43) grimacing 動詞の-ing 形

(44) colossal 形容詞

(45) seeping 動詞の-ing 形

(46) inextricably 副詞

このように、形容詞 2 個・-ing 形 3 個・副詞 3 個・名詞 2 個に分けられる。

次に、選択肢 0～9 を品詞分けします。

0 名詞(最初に冠詞)

1 副詞(in a manner より)

2 形容詞(extent, degree といった語より)

3 副詞(in a way より)

4 名詞

5 形容詞

6 -ing 形

7 副詞

8 -ing 形

9 -ing 形

このように、形容詞 2 個・-ing 形 3 個・副詞 3 個・名詞 2 個と(37)～(46)と品詞が一致する。

次に、これらを数の少ないものから検証していく。まず、名詞が 2 個と少ないので検証する。名詞は(37)と(41)であり、対応する選択肢は 0 と 4。(37)の前後の分を見ると「近づいてくる (37)」という文。0 を検証すると「何か悪いことが起こりそうな警

告・サイン」、4はmindやemotionといった感情に関することであるとわかる。ここで(37)にこの2つの意味を入れてみるが、どっちも入りそうである。次に(41)を見ると「暴力の(41)」となっており、ここに0を入れれば文脈と一致する。よって(41)は0であるとわかる。名詞は2個しかないので、自動的に(37)は4に決まる。まずこれで2個が決まる。

次に形容詞2個を検証する。2の選択肢を見るとimmense「巨大な、莫大な」(基本単語)が言い換えであることがわかる。これを(38)に入れてみると文脈に合わないことから、(44)が2であることがわかる。形容詞は2個しかないので(38)も自動的に5に決定する。

次に副詞3個を検証。まず(39)と(46)に着目。両方とも接頭辞in-が付いていることからマイナス的な意味だとわかり、また接尾辞-ablyから「～できない」という意味だとわかる。ここで選択肢を見ると3と7の説明がマイナスの意味の可能を含んでいることが分かる。よって残った(42)は1に決まる。(39)を見てみると「司令官の時計が予定した時間に～して動いている」という意味。ここに3と7を代入すると7が適切だとわかる。残った(46)は自動的に3に決まる。

最後に-ing形3個。(45)は夜風が～という意味なので「吹いている」という意味がある8がこれになる。(43)は司令官の状態を表しているとわかるので6に決まり、残った(40)は9になる。

- (37) tumult 4
- (38) capricious 5
- (39) inexorably 7
- (40) ensuing 9
- (41) portent 0
- (42) ominously 1
- (43) grimacing 6
- (44) colossal 2
- (45) seeping 8
- (46) inextricably 3

このように

①単語を品詞分け→②選択肢を品詞分け→③個数の少ないものから検証することによって5～10分ほどで終わらせることができる。

2013年の過去問も同様の方法で攻略できるが、ここでは省略する。

2015年は一部品詞による解法が使えなかったが、接頭辞接尾辞などを利用することである程度絞ることができる。